

# おうちで百人一首

ひやくにんいつしゅ

中・高学年向け

ひやくにちご

〽 百日後にマスターするわたし

二日目

〽

## 今日の一首

壬生 忠岑  
みぶの ただみね

上の句  
かみく

有明の  
ありあけ

つれなく見えし

下の句  
しもく

暁ばかり  
あかつき

別れより  
わか

憂きものはなし  
う

## 歌の意味

あなたと二人で楽しく夜を過ごした  
後、お別れする朝に細い月がでてい  
ました。その時以来、夜明けは私に  
とって、とてもつらい時間に感じら  
れるようになってしまいました。

まめちしき！

ひやくにんいつしゅ  
百人一首には、「有明」を

よ  
詠んだ歌が全部で四首あり

ます。有明とは、夜明けに

なつても沈まず、空に残る

月のことです。

かい 3回、こえ 声に出して  
だ  
よ 読んでみよう！



三日目の歌は・・・  
うた

嵐吹く 三室の山のもみぢ葉は  
あらしふ みむろ やま もみぢは

龍田の川の 錦なりけり  
たつた かわ にしき